

東区社会福祉協議会とは？

東区社会福祉協議会(東区社協)は、地域福祉の推進を図ることを目的として組織された民間の団体です。

昭和26年2月に任意団体として設立され、平成6年4月に社会福祉法人の認可を受けました。

地域のみなさんと一緒に、『誰もが安心して住み続けられる福祉のまちづくり』の実現に向けて、一步一步できることから実施していきます。



第2次「みんなで創ろうわがまちひがし」メンバー募集！

東区が「誰もが住みよいまち」となることを目指して策定したこの「第2次地域福祉活動計画」の事業と一緒に実施していくメンバーを募集しています。



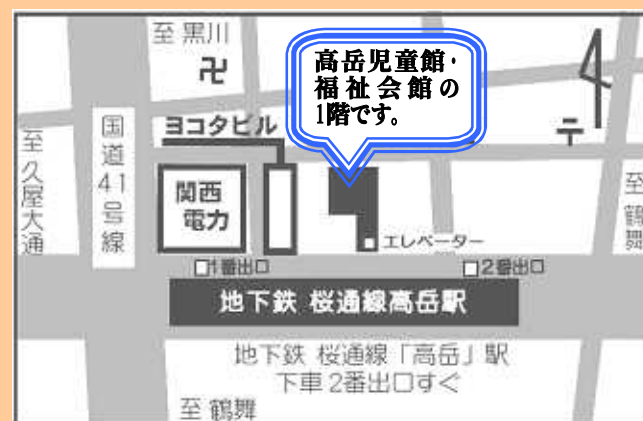
第2次『みんなで創ろうわがまちひがし』(略してみんつく)は、月1回程度の話し合い(会場は下記、東区在宅サービスセンター)を行います。

事業実施に向けて、住民目線でいろいろなアイデアを自由に出し合い、東区が「誰もが住みよいまち」となるように、一緒に考えてみませんか？(*^ー^*)

この計画の本冊子をご希望の方は、下記までご連絡ください。
なお、本会ホームページでもご覧いただけます。



社会福祉法人名古屋市東区社会福祉協議会



〒461-0001

名古屋市東区泉二丁目28番5号

東区在宅サービスセンター内

電話 052-932-8204

FAX 052-932-9311

E-MAIL higashiVC@nagoya-shakyo.or.jp

<http://www.higashi-fukushi.com>

このパンフレットは、再生紙を使用しています。



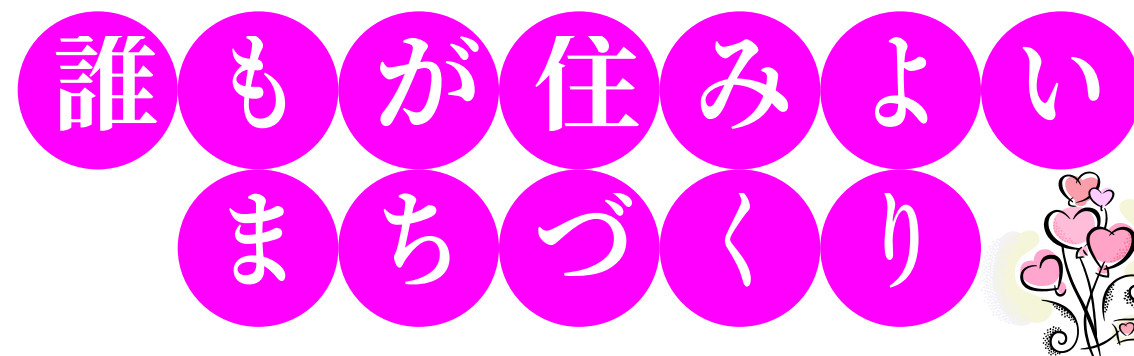
東区社会福祉協議会

第2次地域福祉活動計画

(平成21年度～平成25年度)

概要版

基本理念



第2次地域福祉活動計画は、平成16年度から平成20年度までに取り組んだ「第1次地域福祉活動計画」を引き継ぎ、東区の地域福祉活動の一層の発展を目指すために、住民のみなさんと一緒に策定したものです。

この計画では、「誰もが住みよいまちづくり」という基本理念に向け、住民のみなさんを主体とし、みなさんの参加を得て推進していきたい活動を5つの目標と10の対応策、24の実施項目に整理しています。

5つの目標

I 誰もが参加できる福祉風土づくり

「福祉活動にマンパワーとして参加する」だけでなく、「賛成する」、「寄附をする」など、誰もが無理なく地域福祉活動に参加できる多様な方法を提案します。認知症サポーターなどボランティアを養成し、継続的にフォローアップしながら、福祉意識を高め、育む福祉の風土づくりをすすめます。

II 誰もが出会える交流の場づくり

住民同士が「出会い・ふれあい・話しあい」、人と人がつながることで、より豊かなまちづくりをすすめます。また、「高岳福祉会館等複合施設」を多くの方々に知っていただき、親しみやすい施設を目指します。

III 地域の支えあいネットワークの推進

個人のちょっとした困りごとを小さな地域のなかで解決するために、「見守りと支えあいのネットワーク」をすすめます。認知症の方やその家族を支える地域づくりを重点に、地域住民だけでなく、福祉関係者・行政も連携・協働し、支えあいのネットワークを推進します。

IV 計画推進のしくみづくり

より多くの住民のみなさんに、計画の活動に参加していただけるしくみをつくり、区社協職員とともに計画事業を推進します。「社協の応援団」として、より多くのみなさんに社協活動や計画事業への参加や関心を持っていただき、外部からもご意見をいただく機会を設けます。

V 頼られる社会福祉協議会づくり

ボランティアセンターを広く住民のみなさんに知っていただき、より多くの方に活用していただけるよう強化します。地域での困りごとに対応できる職員を目指し、東区のみなさんにとって頼りになる「社協」を目指します。

社会福祉法人名古屋市東区社会福祉協議会



第2次地域福祉活動計画 体系図

【基本理念】

誰もが住みよいまちづくり

【5つの目標】

I 誰もが参加できる福祉風土づくり



II 誰もが出会う交流の場づくり



III 地域の支えあいネットワークの推進

IV 計画推進のしくみづくり

V 頼られる社会福祉協議会づくり

【10の対応策】

①『福祉まちづくり財源』づくりへの参加

②ボランティアの養成と活動につながる環境づくり

③出会い・知りあい・話しあう場づくり

④親しまれる高岳福祉会館等複合施設へ

⑤ご近所の見守りと助けあい活動の充実

⑥地域での個別支援を支える専門職のネットワークの推進

⑦住民参加による計画推進

⑧社会福祉協議会の応援団を拡げる

⑨ボランティアセンターの機能強化

⑩社会福祉協議会のパワーアップ！

【実施項目】 ★は重点項目

★①-1 寄附を通じた地域福祉活動への参加方法の検討（寄附文化の醸成）
①-2 賛助会員の加入促進・共同募金運動の推進

★②-1 認知症サポーター等に対するフォローアップ
②-2 福祉意識・ボランティア精神の啓発
②-3 新たな地域の担い手を育てる・増やす

★③-1 人と人をつなぐ多様な出会いの場づくり
③-2 地域にある『場』の支援と新たな活用
③-3 地域にある多様な『場』をつなげる

★④-1 足を運びたくなる施設づくり
④-2 知名度120%を目指してPRの強化
④-3 安心して生活するための相談窓口の充実

★⑤-1 『困りごと解決』モデル事業の実施
⑤-2 困りごとを把握する道すじの検討
⑤-3 地域福祉推進協議会によるふれあいネットワーク活動の推進

★⑥-1 認知症の高齢者等を支える『オレンジネット』の推進
⑥-2 行政・専門職のネットワークの充実

★⑦-1 第2次みんつくによる進行管理
⑦-2 みんなで参加する事業の推進

★⑧-1 計画モニターによる意見募集
⑧-2 行事・ホームページ・社協だより等での意見募集

★⑨-1 ボランティアセンターのあり方の検討
⑨-2 東ほっとネット等ボランティアグループやNPOとの協働

★⑩-1 頼られる職員にパワーアップ！！
⑩-2 プロジェクトチームによる課題検討

